

令和六年度 京都府公立高等学校入学者選抜

中期選抜学力検査

検査 1

国語

解答上の注意

- 1 「始め」の指示があるまで、問題を見てはいけません。
- 2 問題は、この冊子の中の1～4ページにあります。
- 3 答案用紙には、**受付番号**を記入しなさい。氏名を書いてはいけません。
- 4 答案用紙の**答の欄**に答えを記入しなさい。採点欄に記入してはいけません。
- 5 答えを記入するときは、それぞれの問題に示してある**【答の番号】**と、答案用紙の**【答の番号】**とが一致するように注意しなさい。
- 6 答えを記号で選ぶときは、答案用紙の**答の欄**の当てはまる記号を○で囲みなさい。答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消すか、それに×をつけなさい。
- 7 答えを記述するときは、丁寧に書きなさい。
- 8 **字数制限がある場合は、句読点や符号なども一字に数えなさい。**
- 9 答えの書き方について、次の解答例を見て間違いのないようにしなさい。

解答例

一 火曜日の翌日は何曜日か、漢字一字で書け。……………**【1】** 答の番号

二 次の問い(1)・(2)に答えよ。

(1) 北と反対の方角として最も適当なものを、次の(ア)～(ウ)から一つ選べ。……………**【2】** 答の番号

(ア) 東 (イ) 西 (ウ) 南

(2) 次の(ア)～(オ)のうち、奇数をすべて選べ。……………**【3】** 答の番号

(ア) 1 (イ) 2 (ウ) 3  
(エ) 4 (オ) 5

二		一	問題番号
(2)	(1)		番号
<b>【3】</b>	<b>【2】</b>	<b>【1】</b>	答の番号
(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ)	ア イ (ウ)	水 曜日	答の欄
<b>【3】</b>	<b>【2】</b>	<b>【1】</b>	採点欄

検査					
1					
受付番号					
1	2	3	4	5	6
得点					

このページに問題は印刷されていません

この部分は著作権の関係により掲載していません。

一 次の文章は、「古今著聞集」の一節である。注を参考にしてこれを読み、問

(1) (4)に答えよ。(12点)

注

- \* 九条の大相国：藤原伊通。
- \* 后町の井：内裏にある、皇后の宮殿へ渡る通路のかたわらにある井戸。
- \* 丞相の相：大臣の人相。
- \* 大内：内裏。
- \* つひにはむなしからじ：いずれは必ず大臣になれるのである。
- \* ゆゆしき：すばらしい。
- \* 宇治の大臣：藤原頼長。
- \* 浅位の時：位の低かった頃。
- \* 后町の井へ渡る通路のかたわらにある井戸。
- \* おぼして：お思いになって。
- \* 大臣にならんずる事：大臣になるということ。
- \* 相人：人相を見てその人の将来の運勢を占う人。
- \* わざと：特に依頼して。

〔新潮日本古典集成〕による

- (1) 本文中の **a** かなる事にかとおぼつかなくて の解釈として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【1】
- (ア) 大臣の人相がもう一度見えたとはどういうことかと不審に思っ  
(イ) うれしくなると大臣の人相が見えるとはどういうことかと不審に思っ  
(ウ) 大臣の人相が一度も見えたことがないとはどういうことかと不審に思っ  
(エ) 見えたはずの大臣の人相が見えなくなったとはどういうことかと不審に思っ
- (2) 本文中の **A**・**B** に入る表現の組み合わせとして最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【2】
- (ア) A 井にて近く B 鏡にて遠く  
(イ) A 井にて遠く B 鏡にて近く  
(ウ) A 鏡にて近く B 井にて遠く  
(エ) A 鏡にて遠く B 井にて近く
- (3) 本文中の **b** おはしましけり をすべて現代仮名遣いに直して、平仮名で書け。また、次の (ア)～(エ) のうち、波線部 (~~~~) が現代仮名遣いで書いた場合と同じ書き表し方であるものを一つ選べ。 答の番号【3】
- (ア) 舟ども行きちがひて (イ) なほ聞こえけり  
(ウ) 我をば見知りたりや (エ) 隠しすゑたりける

(4) 次の会話文は、未波さんと幸治さんが本文を学習した後、本文について話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①～③に答えよ。

未波 本文にある「大相国」や「丞相」という言葉は唐名といって、日本の役職を中国風に言い換えた名称のようだよ。

幸治 それぞれ「太政大臣」と「大臣」の唐名なんだね。当時の日本の貴族は、中国の古典を教養として学んでいたんだよね。本文に登場する九条の大相国と宇治の大臣も学んでいたようだよ。

未波 そうだね。私たちが使っている教科書に、「韓非子」の一節として、「之を譽めて曰はく、『吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり。』」が載っていたね。現代の私たちも、古代中国の高名な思想家の言葉や故事成語からさまざまなことを学んでいるよね。

幸治 そうだね。ところで、本文から、九条の大相国はどのような人物だったことが読み取れるかな。

未波 本文から、九条の大相国は、**X** だったことが読み取れるね。

幸治 うん。九条の大相国の予想通り、「**Y**」大臣になったことから、筆者が九条の大相国を「ゆゆしき相人」だと表現しているのも納得だね。

- ① 会話文中の「之を譽めて曰はく、『吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり。』」は、漢文では「譽之曰吾盾之堅莫能陷也」のように記す。これに句読点、返り点、送り仮名などをつけたものとして最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【4】
- (ア) 譽<sup>メテ</sup>之<sup>ラ</sup>曰<sup>ハク</sup>、「吾<sup>ガ</sup>盾<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>堅<sup>キ</sup>莫<sup>ク</sup>能<sup>ク</sup>陷<sup>ス</sup>也<sup>ト</sup>。」  
(イ) 譽<sup>レ</sup>之<sup>ヲ</sup>曰<sup>ハク</sup>、「吾<sup>ガ</sup>盾<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>堅<sup>キ</sup>、莫<sup>ク</sup>能<sup>ク</sup>陷<sup>ス</sup>也<sup>ト</sup>。」  
(ウ) 譽<sup>ニ</sup>之<sup>ヲ</sup>曰<sup>ハク</sup>、「吾<sup>ガ</sup>盾<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>堅<sup>キ</sup>、莫<sup>ク</sup>能<sup>ク</sup>陷<sup>ス</sup>也<sup>ト</sup>。」  
(エ) 譽<sup>ニ</sup>之<sup>ヲ</sup>曰<sup>ハク</sup>、「吾<sup>ガ</sup>盾<sup>ノ</sup>之<sup>ノ</sup>堅<sup>キ</sup>、莫<sup>ク</sup>能<sup>ク</sup>陷<sup>ス</sup>也<sup>ト</sup>。」
- ② 会話文中の **X** に入る最も適当な表現を、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【5】
- (ア) 宇治の大臣にまでわざわざ自分の人相を見てもらう、探究心の強い人物  
(イ) 位の低かった頃をなつかしんで井戸に立ちよる、思い出を大切にす人物  
(ウ) 大臣の人相が見えることをいくつかの井戸に確認しに行く、慎重な人物  
(エ) 大臣の人相が見える条件を冷静に考えて物事を見通す、分析力のある人物
- ③ 会話文中の **Y** に入る最も適当な表現を、本文中から七字で抜き出して書け。 答の番号【6】
- 【裏へつづく】

この部分は著作権の関係により掲載していません。

二

次の文章を読み、問い(1)～(11)に答えよ。(28点)  
〔1〕～〔7〕は、各段落の番号を示したものである。

【くまのうた】

---

この部分は著作権の関係により掲載していません。

〔宮内勝「音楽の美の戦いと音楽世界」による〕

注

\* ヴィヴィッド…いきいきしたさま。

\* 現象する…ものごとがある形をとって現れる。

\* 豊穣さ…ものが豊かなこと。 \* 映発…光や色彩が映り合うこと。

\* 定式化…一定の方式で表すこと。 \* 回帰…ひと回りして元に戻ることに。

(1) 本文中の <sup>a</sup>それが感覚的にどのようかをあらためて体験する とは、どのようなことを指しているのか、最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【7】

(ア) 自分の茶碗がどういった色や模様であるかをあらためて見ること。

(イ) 使っている茶碗が誰のものであるかをあらためて知ること。

(ウ) 自分の茶碗の細部がどうなっているかをあらためて言語化すること。

(エ) 茶碗がいつも通りの状態であることをあらためて実感すること。

(2) 本文中の <sup>b</sup>それに深くかわるのが を単語に分け、次の (例) にならって自立語と付属語に分類して示したものと最も適当なものを、後の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【8】

〔例〕日は昇る。・・・ (答) 自立語+付属語+自立語

(ア) 自立語+自立語+自立語+付属語+付属語

(イ) 自立語+付属語+自立語+自立語+付属語

(ウ) 自立語+付属語+自立語+自立語+付属語+付属語

(エ) 付属語+付属語+自立語+自立語+付属語+付属語

(3) 次の文章は、本文中の <sup>c</sup>頭上 の「上」という漢字の成り立ちに関して述べたものである。文章中の <sup>d</sup>X・<sup>e</sup>Y に入る最も適当な語を、<sup>f</sup>X は後の I 群 (ア)～(エ) から、<sup>g</sup>Y は II 群 (カ)～(ケ) から、それぞれ一つずつ選べ。 答の番号【9】

形のない事柄を、記号やその組み合わせで表すことによって作られた漢字は <sup>f</sup>X 文字に分類される。「上」という漢字は、「<sup>g</sup>Y」と同じく、一般的にこの <sup>f</sup>X 文字に分類される。

I 群 (ア) 象形 (イ) 指事 (ウ) 会意 (エ) 形声

II 群 (カ) 本 (キ) 林 (ク) 馬 (ケ) 詞

(4) 本文中の <sup>d</sup>ハイ色 の片仮名の部分を漢字に直し、楷書で書け。 答の番号【10】

(5) 本文からは次の一文が抜けている。この一文は本文中の (1)～(4) のどこに入るか、最も適当な箇所を示す番号を一つ選べ。 答の番号【11】

それだからこそ、意味にとらえられている。

(6) 本文中の <sup>e</sup>澄んだ の漢字の部分の読みを平仮名で書け。 答の番号【12】

(7) 本文中の <sup>f</sup>そのような平板な認識 についての説明として最も適当なものを、次の (ア)～(エ) から一つ選べ。 答の番号【13】

(ア) 美しいと感じたあらゆるものを、意味によって同一的なものとして認識すること。

(イ) その都度感覚にたいして多様な現れ方をするものごとを、意味によって同一的なものとして認識すること。

(ウ) 慣れ親しんだものを、言葉では表現しきれないほど美しいものだとして認識すること。

(エ) 感覚を魅了するものごとを、言葉では表現しきれないほど美しいものだと認識すること。

(8) 本文中の <sup>g</sup>先立つ の活用形として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、波線部 (~~~~) が <sup>g</sup>先立つ と同じ活用形であるものを、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。 答の番号【14】

I 群 (ア) 未然形 (イ) 連用形 (ウ) 終止形 (エ) 連体形

II 群 (カ) 入学してから一年が過ぎた。

(キ) 冬場は湯がすぐに冷める。

(ク) 朝食の前に花に水をやる。

(ケ) 大切なのは挑戦をすることだ。

(9) 本文中の <sup>h</sup>いざなう の意味として最も適当なものを、次の I 群 (ア)～(エ) から一つ選べ。また、本文中の <sup>h</sup>安易な の意味として最も適当なものを、後の II 群 (カ)～(ケ) から一つ選べ。 答の番号【15】

I 群 (ア) 導く (イ) 流れ出る (ウ) 変える (エ) 現れる

II 群 (カ) 押しつけがましい (キ) 深く考えない

(ク) 感情的な (ケ) 迅速な

【裏へつづく】

(10) 本文における段落どうしの関係を説明した文として**適当でないもの**を、次の

(ア)～(エ) から一つ選べ。……………**答の番号**【16】

(ア) 2 段落では、1 段落で示した内容について、具体例を挙げて要因を考察している。

(イ) 4 段落では、3 段落で述べた主張の根拠を示した後、これまでの論をまとめている。

(ウ) 5 段落では、4 段落で述べた内容について、比喩を用いながら説明を補足している。

(エ) 7 段落では、6 段落で提起した問題について、考察を述べ、論を展開している。

(11) 敬一さんと由香さんのクラスでは、本文を学習した後、各班で本文に関連する新聞を編集することになった。次の会話文は、敬一さんと由香さんが話し合ったものの一部である。これを読み、後の問い①～④に答えよ。

**敬一** 2 段落に「言語の能力によって人間ははじめて人間になりえたとさえないだろう」とあるけれど、言語が私たちにもたらしたものは大きいんだね。

**由香** うん。言語によって意味の支配が生じるんだよね。

**敬一** そうして生じた意味の支配は **A** と本文で述べられているね。

この一連の流れによって日常性は支えられているんだね。

**由香** そうだね。筆者は日常世界を意味の衣に覆われた世界とし、意味の衣に覆われる以前の先意味の世界と区別しているよ。意味の衣に覆われた世界では、**B** と本文から読み取れるね。

意味の衣に世界が覆われたため、私たちは美を喪失したけれど、それがかえって **C** 強い思いをこらえられなくなることへとつながっていくんだね。本文をよく理解できたし、つぎは新聞のテーマについて話し合おうか。

会話文中の **A** に入る最も適当な表現を、本文中から十二字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………**答の番号**【17】

会話文中の **B** に入る最も適当な表現を、下段の (ア)～(エ) から一つ選べ。……………**答の番号**【18】

……………**答の番号**【17】

(ア) ささまざまなものが意味的に認識され、多様な感覚の体験に意識を向ける必要がない

(イ) いつもの通りという自明性が支配していて、惰性に陥っていた感覚がざわめく

(ウ) 意味的理解を打ち破った美しいものによって、私たちは満足をあたえられる

(エ) 意味的同一化以前の感覚的感情的な現れがさまざまに生じ、認識されたものが他者へ効率的に伝達される

③ 会話文中の **C** に入る最も適当な表現を、本文中から十二字で抜き出し、初めと終わりの三字を書け。……………**答の番号**【19】

④ **新聞** を編集するときの一般的な注意点について説明した次の文章中の **X**～**Z** に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、後の **I** 群 (ア)～(カ) から一つ選べ。また、敬一さんは、新聞のテーマについて話し合った際、メモを行書で書いた。後の **図** は、敬一さんが書いたメモの一部である。図中の **視点** の「視」を楷書にしたときの総画数として最も適当なものを、後の **II** 群 (サ)～(セ) から一つ選べ。……………**答の番号**【20】

新聞を編集するときは、伝える内容に適した文章の種類を選択することが大切である。実際に起こった出来事を伝えるときは **X** で、見聞きしたことや体験を通して自分が感じたことを伝えるときは **Y** で、自分の考えを適切な根拠で支えて伝えるときは **Z** で表現するとよい。

I 群	
(ア)	X 意見文 Y 随筆 Z 報道文
(イ)	X 意見文 Y 報道文 Z 随筆
(ウ)	X 随筆 Y 意見文 Z 報道文
(エ)	X 随筆 Y 報道文 Z 意見文
(オ)	X 報道文 Y 意見文 Z 随筆
(カ)	X 報道文 Y 随筆 Z 意見文

**図** 別の視点から考えると、

**II 群** (サ) 九画 (シ) 十画 (ス) 十一画 (セ) 十二画

【国語おわり】







# 検査1 国語答案用紙

二														一						問題番号						
(11)				(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)			(3)	(2)	(1)							
㊤	㊥	㊦	㊧											㊨	㊩	㊪					㊫	㊬	㊭	㊮	㊯	㊰
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号						
I アイ ウエ オカ	}	ア	}	ア	I アイ ウエ	I アイ ウエ	ア	んだ	1	色	I アイ ウエ	ア	ア	}	ア	ア	}	ア	ア	欄						
II サシ スセ		イ		イ	II カキ クケ	II カキ クケ	イ		2		イ	イ	イ		イ	イ		イ	イ		イ	イ	イ	イ	イ	
		ウ		ウ	ウ	ウ	ウ		ウ		3	ウ	ウ		ウ	ウ		ウ	ウ		ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ
		エ		エ	エ	エ	エ		エ		4	エ	エ		エ	エ		エ	エ		エ	エ	エ	エ	エ	エ
得点	【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	採点欄					

検 査
1
受 付 番 号
得 点

# 検査1 国語 正答表

二														一						問題番号
(11)				(10)	(9)	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)			(3)	(2)	(1)	
㊤	㊥	㊦	㊧											㊨	㊩	㊪				
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	番号
I	美を求めとす	ア	感覚の起こす	イ	I	I	イ	す	①	灰	I	ウ	ア	はるかに程へて	イ	ウ	おわしましけり	ウ	イ	欄
カ					ス	キ					ケ									
【20】	【19】	【18】	【17】	【16】	【15】	【14】	【13】	【12】	【11】	【10】	【9】	【8】	【7】	【6】	【5】	【4】	【3】	【2】	【1】	備考欄
						完全解答					完全解答									
(各1)2	2	2	2	2	(各1)2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	(各1)2	2	2	配点